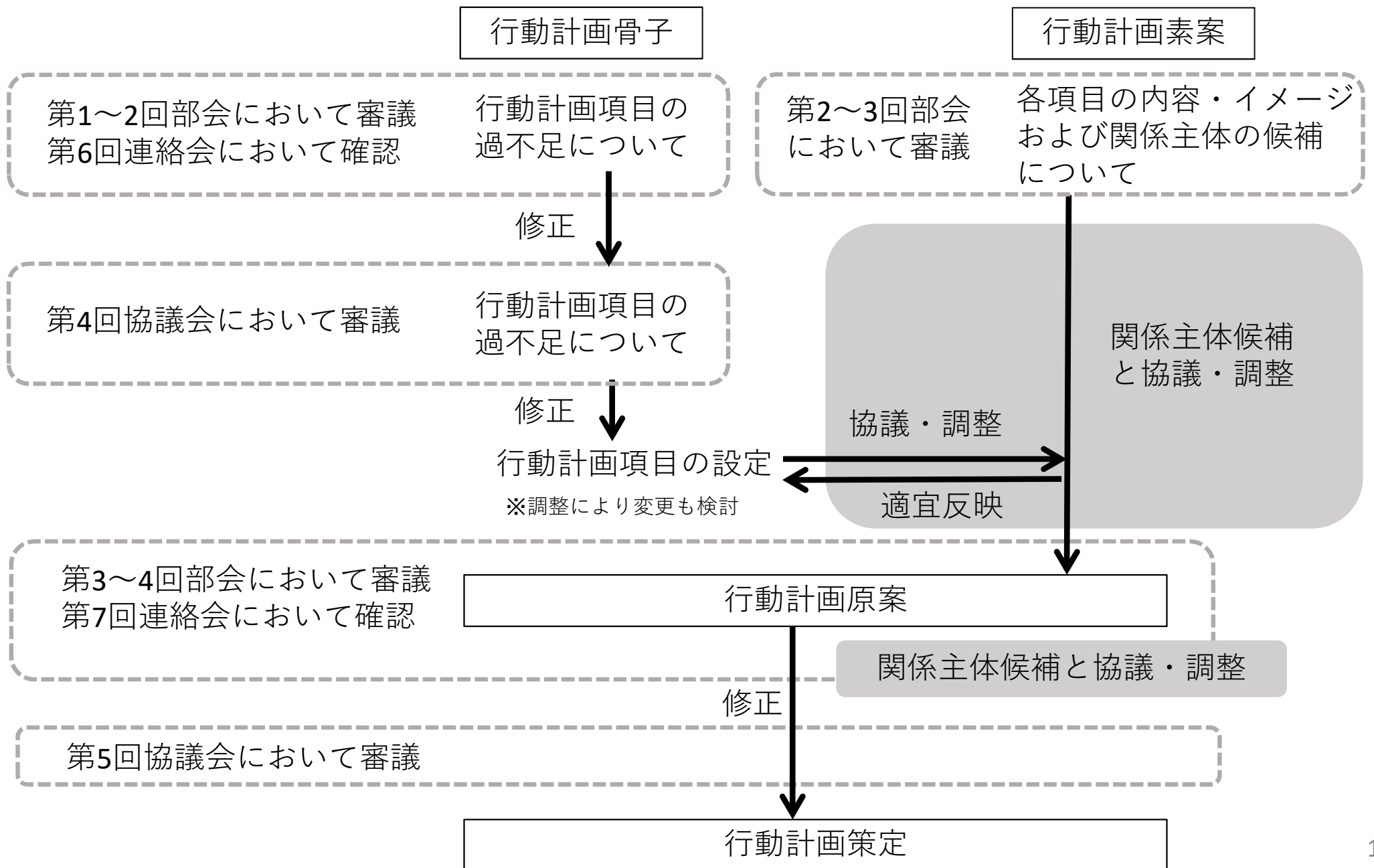


行動計画項目（地域づくり）の内容について （案）

行動計画策定に向けた進め方



行動計画目標（短期～中期）と項目

- ・地域づくりに係る行動計画目標（案）と項目（案）は以下の通り。
- ・次頁以降では「2.広報」と「4.地域振興：観光」について、各行動計画項目（案）の内容を示す（1,3,5,6のカテゴリーについては、来年度開催の第3回活用部会にて審議いただく予定）。

行動計画目標（案）	行動計画項目（案）
【1. 支援体制構築】 中期：人材供給や効果分析、他圏域との連携等を通じて各主体の取組を支援する体制が構築されている。 短期：部会等を設置し、各主体の取組を支援する方策の検討とともに、行動計画の評価、見直しを行う。	1-1. 部会やワーキングの運営
	1-2. 経済波及効果の分析
	1-3. プロジェクトの継続・発展に向けた仕掛けづくり
【2. 広報】 中期：イベントや広報ツール等を活用した広報活動により、当取組に対する認知度や参加意欲が向上。 短期：イベントや広報ツール等の活用により、圏域内外に向けた広報を進めるとともに認知度等を把握する。	2-1. 生態系ネットワークに関する認知度の把握
	2-2. 広報ツールの作成
	2-3. イベント開催
	2-4. 地域ブランドの構築に向けた検討
【3. 環境学習】 中期：生態系ネットワークを通じた自然環境学習を学校内外で推進する体制が、一部の地域で実践されている。 短期：生態系ネットワークを通じた自然環境学習を学校内外で推進する体制の構築に向けた検討が進められている。	3-1. 自然環境学習の状況の把握
	3-2. 自然環境学習ツールの作成
	3-3. 学習イベント・プログラムの実施
	3-4. 人材育成
	3-5. 講師・アドバイザー派遣
	3-6. 学校外での自然環境学習の推進
【4. 地域振興：観光】 中期：生態系ネットワークに関連する地域資源を活かした観光商品やサービスが造成されている。 短期：生態系ネットワークに関連する地域資源や人材を発掘するとともにモデル事業を実施。	4-1. 観光商品の造成
	4-2. ガイド発掘・育成
【5. 地域振興：農業】 中期：生産者への支援や需要家等への普及活動により、生物多様性保全型農業に取組む生産者（農業者）や需要家が年々、増加している。 短期：生物多様性保全型農業の推進に向け、生産者への支援策の検討や需要家等への普及策の検討を行う。	5-1. 生産者（農業者）に向けた取組
	5-2. 需要家・消費者等に向けた取組
【6. 地域振興：その他】 短期：その他の地域振興・産業振興分野についても、生態系ネットワークの活用の可能性について検討を行う。	6-1. ウォーキングコースの設置と啓発情報の整備

2. 広報

■到達目標

- ・継続的な広報活動などにより、越後平野生態系ネットワークに対する理解が深まり、圏域内の大部分の方々や圏域外の多くの方々に、この取組が認知されている。
- ・ガン類・ハクチョウ類・トキをシンボルとした生態系ネットワーク形成の取組が全国から注目され、地域ブランドの確立につながっている。

■行動計画目標・項目・内容

行動計画目標	計画項目	内容	目標	
			短	中
短期目標（2025年） イベントや広報ツール等の活用により、圏域内外に向けた広報を進めるとともに認知度等を把握する。 中期目標（2030年） イベントや広報ツール等を活用した広報活動により、当取組に対する認知度や参加意欲が向上。	2-1. 生態系ネットワークに関する理解や参加意向等の把握	1. 既存アンケートの整理		
		2. 各取組における調査		
	2-2. 広報ツールの作成	1. 全体ウェブサイト作成	○	
		2. 既存サイトに全体ウェブサイトへのリンクを追加	○	
		3. 既存サイトに生態系ネットワークに係る各主体の取組を紹介するページを作成		
		4. SNSでの発信	○	
		5. 新規パンフレットやパネル等の制作		
		6. 全体ウェブサイトに既存動画へのリンクを追加	○	
		7. 新規動画企画との連携		○
	2-3. イベント開催	1. 既存イベントでの紹介		
2. 新規イベントの開催				

■取組内容案

2-1. 生態系ネットワークに関する理解や参加意向の把握

越後平野の環境とそのつながりに関する理解や、取組への参加意向などについて、既存のアンケート結果から読み取れる傾向を整理しつつ、イベントやツアー等の取組を実施する際に、取組の改善につなげることを目的としたアンケート調査等を行う。

計画項目	内容	目標		中心的に取組む主体 ※ [] は検討主体 ※ () は協力・連携
		短	中	
2-1. 生態系ネットワークに関する理解や参加意向等の把握	1. 既存アンケートの整理			[活用部会]・大学・既存のアンケート調査を実施している主体
	2. 各取組における調査			[活用部会]・大学・取組の実施主体

2-1-1. 既存アンケート結果の例（実施主体・頻度）

- ・新潟市の潟（湖沼）に関するアンケート（新潟市 潟環境研究所 2019年にのみ実施）
- ・長岡市の環境に関するアンケート（長岡市 環境政策課・2022年度のみ実施）
- ・令和元年度 第2回県民アンケート調査結果（テーマ：新潟県の環境について）
（新潟県・2019年にのみ実施）
- ・新潟県観光入込客統計調査
（新潟県観光文化スポーツ部観光企画課集計、各市町村調査・平成23年～）
- ・水の駅「ビュー福島潟」設置してあるアンケート（ビュー福島潟・不定期）

2-2. 広報ツールの作成

越後平野生態系ネットワークのウェブサイト（全体サイト）については、今年度中の公開に向けて準備中。

併せて、各主体が管理する既存のサイトに上記サイトへのリンクを追加したり、各主体の生態系ネットワークに係る取組を、それぞれの主体のサイトで紹介してもらったりすることを検討。その他、全体サイトを各主体が運用するSNSで発信してもらったり、紙媒体のパンフレットやパネル等の作成も行う。

計画項目	内容	目標		中心的に取組む主体 ※ [] は検討主体 ※ () は協力・連携
		短	中	
2-2. 広報ツールの作成	1. 全体ウェブサイト作成	○		[活用部会]・北陸地整
	2. 既存サイトに全体ウェブサイトへのリンクを追加 ⇒関心の高い閲覧者の呼び込み	○		ウェブサイトを所有している主体
	3. 既存サイトに生態系ネットワークに係る各主体の取組を紹介するページを作成			ウェブサイトを所有している主体
	4. SNSでの発信⇒普及啓発・イベント集客	○		SNSを運用している主体
	5. 新規パンフレットやパネル等の制作 ⇒各拠点への設置やイベント等での活用を通じた普及啓発の促進			
	6. 全体ウェブサイトに既存動画へのリンクを追加⇒既存動画の有効活用	○		[活用部会]・北陸地整
	7. 新規動画企画との連携		○	動画作成を企画している主体

<着手済みの取組>

2-2-1. 全体ウェブサイト作成

- ・協議会に諮った後に公開予定。

越後平野の生態系ネットワーク

進め方・目指すこと

越後平野の生態系ネットワークの進め方

令和元年に「越後平野における生態系ネットワーク推進協議会」を設立しました。協議会では、越後平野における生態系ネットワークの目標に向けた取組の進捗確認、また、本構想に基づいた行動計画を策定し、事業を推進していきます。本構想・行動計画は、取組状況や社会状況に応じて、変更・更新を行います。また、関係機関担当者による連絡調整や情報交換を行う連絡会を、必要に応じて開催します。

実践的な取組のための部会は、生態環境の検討と自然環境の活用を取組のテーマとし、有識者や地域の関係主体が参加する具体的な取組の検討・実施を進める場として設置しました。

これまでに越後平野における生態環境の検討と自然環境の活用の参考とするために、現地視察会等を実施しています。

<今後の取組イメージ>


2-2-2. 既存サイトに全体ウェブサイトへのリンクを追加




出典：出雲河川事務所ウェブサイト

2-2-4. SNSでの発信

既存SNSの例

新潟市里潟研究
ネットワーク会議 

新潟市北区
観光協会  

水の駅
「ビュー福島潟」
クイクイ 

nagaokacity 

2-2-5. 新規パンフレット やパネル等の制作



斐伊川生態系ネットワークの
水鳥パネル

2-2-3. 既存サイトに、生態系ネットワーク に係る各主体独自の取組を紹介する ページを作成



出典：野田市コウノトリと共生する地域づくり協議会
ウェブサイト

2-2-6. 全体ウェブサイト に既存動画への リンクを追加



出典：にいがた観光ナビ

■取組内容案

2-3. イベント開催

環境や地域づくりに関わる既存のイベント等において、先述のパネル等を使いながら、越後平野生態系ネットワークで目指すものや、河川・潟の中での環境づくり、堤内地での環境保全型農業、それらを活かした観光振興や環境学習などの紹介を行うことで、普及啓発や担い手の確保につなげていく。

計画項目	内容	目標		中心的に取り組む主体 ※ [] は検討主体 ※ () は協力・連携
		短	中	
2-3. イベント開催	1. 既存イベントでの紹介			既存イベントを実施している主体
	2. 新規イベントの開催			[活用部会]・各主体

2-3-1. 既存イベントの例（実施主体・開催時期等）

- ・ 福島潟自然文化祭（実行委員会・9月）
- ・ 福島潟マルシェ（福島潟みらい連合・6・11月）
- ・ Niigata Organic Festa（実行委員会・11月）
- ・ 福島潟フォトコンテスト（水の駅「ビュー福島潟」）
- ・ オオヒシクイ・ハクチョウ見学ツアー（五頭自然学校・予約制）



4. 地域振興：観光

■到達目標

- ・ガン類やハクチョウ類、トキをシンボルとした生態系ネットワークに関連する地域資源を活かした観光が、圏域内で広く実践され、圏域外との交流も活発となっている。

■行動計画目標・項目・内容

行動計画目標	計画項目	内容	目標	
			短	中
短期目標（2025年） 生態系ネットワークに関連する地域資源や人材を発掘するとともにモデル事業を実施。	4-1. 観光商品の造成	1. 地域資源（素材）の発掘・再整理	○	
		2. モニターツアー等の実施	○	
		3. 観光商品の造成・改良		○
中期目標（2030年） 生態系ネットワークに関連する地域資源を活かした観光商品やサービスが造成されている。	4-2. ガイド発掘・育成	1. ガイドの状況把握		
		2. ガイド発掘・育成		

取組内容案

4－1．観光商品の造成

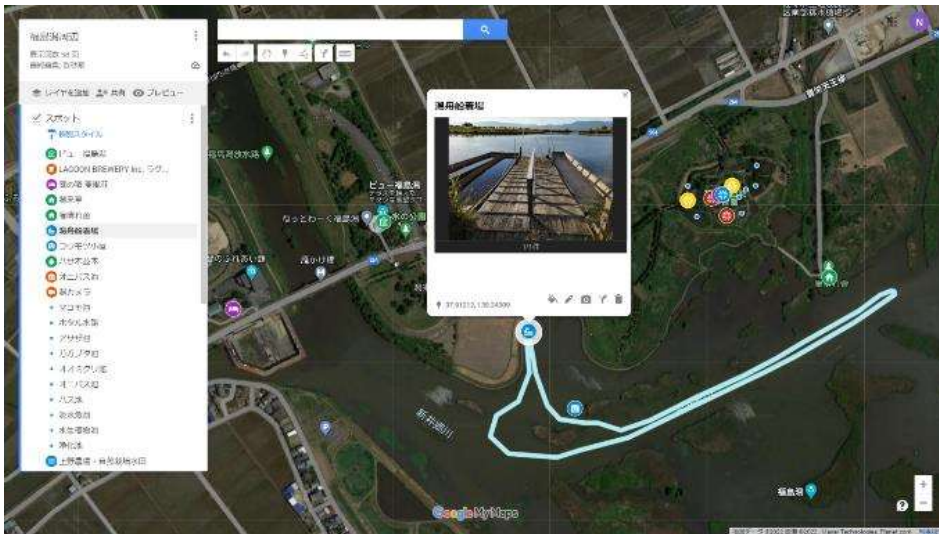
生態系ネットワークに関連した地域資源を活かした観光の展開に向け、地域資源の発掘を行うとともに、体験プログラムやモデルツアー等を実施し、生態系ネットワークに関連したツアー造成や飲食サービスの展開などを行う。

4－2．ガイド発掘・育成

生態系ネットワークに関連した観光商品の造成に向け、教育機関との連携も図りながら、対応可能なガイドの発掘や育成を行う。

計画項目	内容	目標		中心的に取り組む主体 ※ [] は検討主体 ※ () は協力・連携
		短	中	
4-1. 観光商品の造成	1. 地域資源（素材）の発掘・再整理	○		[活用部会]・各地域での関係者
	2. モニターツアー等の実施	○		
	3. 観光商品の造成・改良		○	
4-2. ガイド発掘・育成	1. ガイドの状況把握			[活用部会]・各地域での関係者・教育機関
	2. ガイド発掘・育成			

4-1-1. 地域資源（素材）の発掘・再整理



関係主体へのヒアリング等を元に、生態系ネットワークに係る地域資源をグーグルマイマップ上で整理、生態系ネットワークウェブサイトで公開

4-1-2. モニターツアー等の実施



2022/11/21に福島潟エコツーリズム・モニターツアーを実施

にいがた観光素材・コンテンツ検索サイト

素材・コンテンツ検索サイト



八木ヶ島温泉いい湯らてい
新潟県三条山下地域にある大自然に囲まれた日帰り温泉施設です。露天風呂からは新潟景遊百選に選ばれた雄大な八木ヶ島を一望することができます。詳細は下記URLを御参照ください。 <http://www.iilyuratel.com/>
[ホームページはこちら](#)



SnowPeak Headquarters
天気のいい日には薬ヶ岳や守門岳を見ることが出来る、広さ約5万坪の開けた草原で、春夏秋冬をキャンプを楽しむことが出来ます。レンタル品の貸出しもっており、道具を持たない初心者でも安心して御利用いただけます。さらに、10名以上の団体で御利用の方のために「団体キャンプラン」を御用意しております。さらに、ストアでは、現在のスノーピークの全ての商品



白鳥の郷公園
新潟県三条市森町にある白鳥の郷公園では、毎年11月下旬頃から白鳥が飛来します。湖や池ではなく川に下りることがほとんども珍しいです。口中は近くの田んぼなどに餌を探しに行ったりしますが、早朝や夕方には五十嵐川を悠々と泳ぐ白鳥の姿が見られます。詳細は下記URLを御参照ください。 https://www.city.sanjo.niigata.jp/sanjonavi/see_do/nature/swan/2282.ht

出典：にいがた観光素材・コンテンツ検索サイト

4-2-1. 既存ガイドの例

- 五頭自然学校
主に五頭山で活動。福島潟でのオオヒシクイ観察ツアーガイドも実施。
- ビュー福島潟
福島潟周辺で活動。潟散歩やバードウォッチングを実施。
- 瓢湖の白鳥を守る会
主に瓢湖で活動。瓢湖遊歩道で白鳥や水鳥について説明を行う探鳥会を実施。